

大阪教区伝研の会
公開講座

一から読む『浄土論註』

(第11回)

はからずも「親鸞」と名のられた越後時代の宗祖。そこにおかれて、生活の現場を目の当たりにされた親鸞聖人は、天親菩薩から曇鸞大師へと受け継がれた浄土論、浄土論註の学びを深められました。

曇鸞は論註の冒頭に龍樹の開頭された難行・易行の道をあげて、易行道こそが私たちの存在そのものの難が明らかになったところにひらかれてくる道としていただかれました。

大阪教区伝研の会では、親鸞聖人が大切にいただかれた『浄土論註』を改めて一から読み進めていく公開講座を開催しております。

どなたでも、またじっくりと読み進めておりますので、途中からでも聴講できます。たくさんの方のご参加をお待ちしております。

記

日 時 2月21日(金) 午後6時～午後8時まで

会 場 難波別院1階 講堂

講 師 みつかわ まこと
光川 眞翔氏 (大谷大学 助教)

テキスト 「解説浄土論註(改訂版)」 蓑輪秀邦編 東本願寺出版部 約3800円

※お手数ですが、各自でご準備下さい。

東本願寺出版部へお問い合わせ下さい。 TEL 075-371-9189

参加費 1000円 (どなたでも聴講可・途中からでも聴講可)

以上